

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 調査・研究委員会  
令和6年能登半島地震被害報告会 2024.07.25

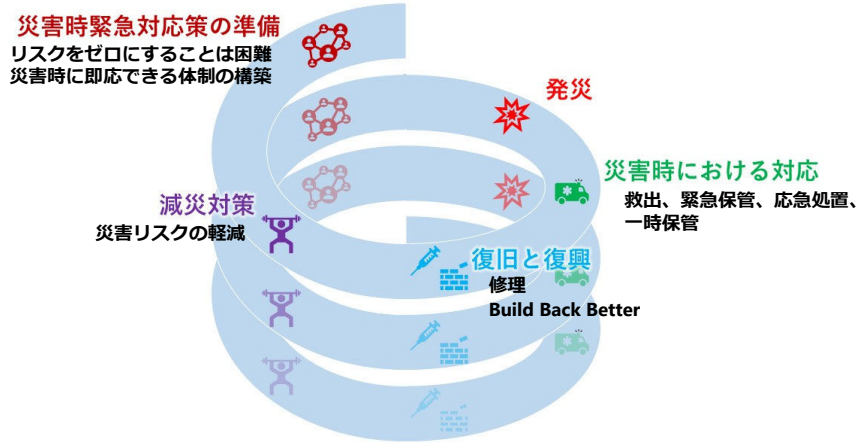
## 文化財防災センターの取り組みと 能登半島地震被災文化財等レスキュー事業

高妻洋成



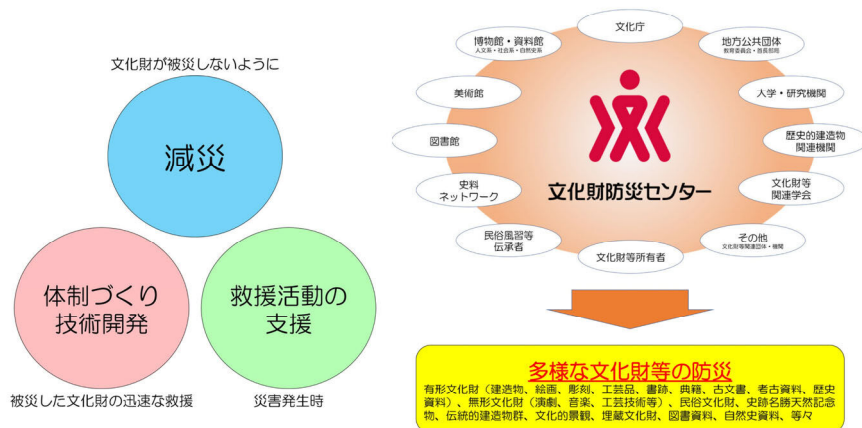
独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター  
Cultural Heritage Disaster Risk Management Center, Japan

## 文化財防災スパイラル



## 文化財防災センターの使命

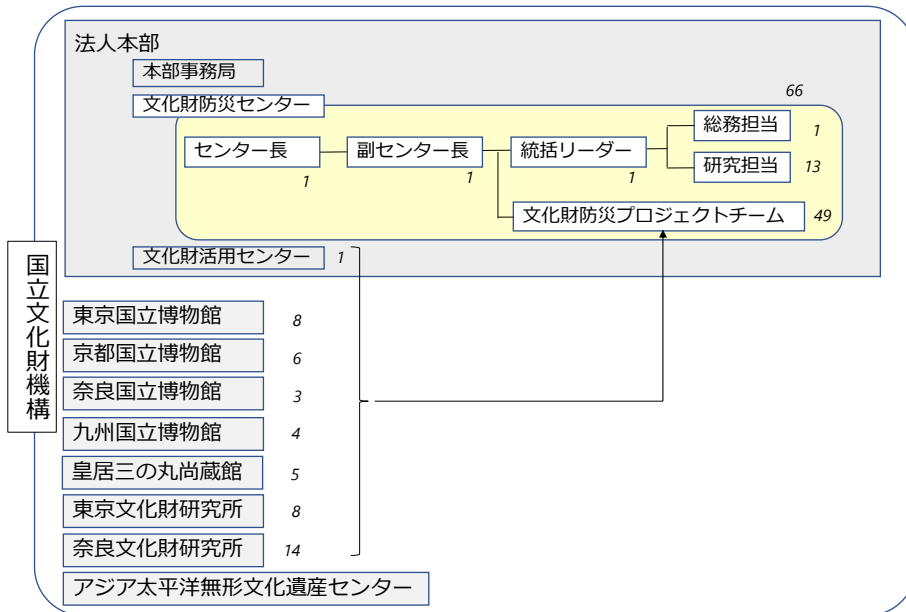
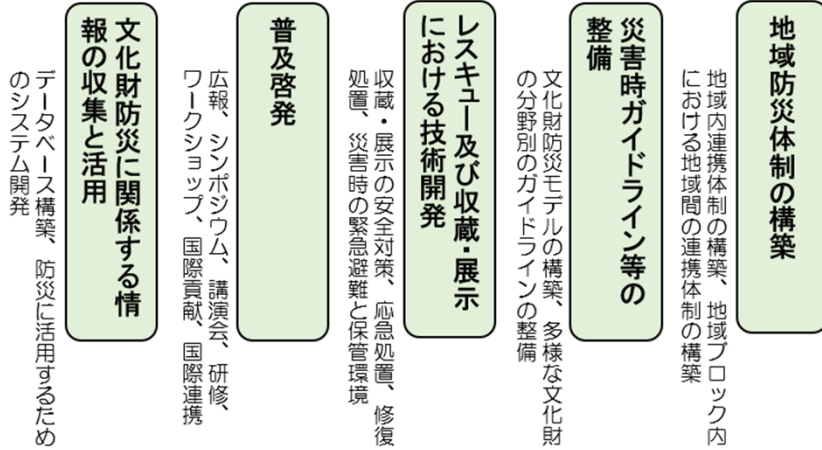
多様な文化財を対象に、これまでに築き上げてきた文化財等関連組織の幅広いネットワークを活かし、**我が国の文化財防災の体制を構築**する。





独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター  
Cultural Heritage Disaster Risk Management Center, Japan

文化財を災害から守るために 事業の5つの柱



## 令和6年能登半島地震



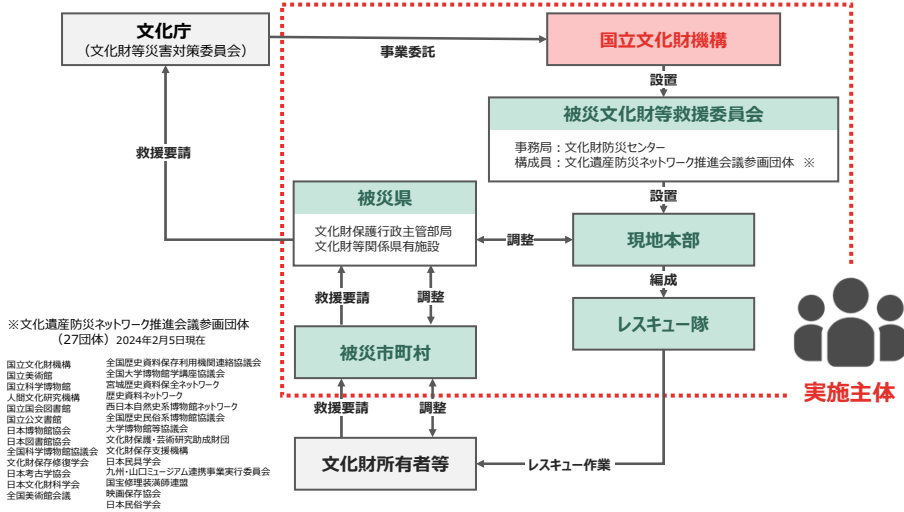
### 発災以降の動き

- 1月1日 ぶんぼう本部相互連絡
- 1月2日 ぶんぼう本部会議。文化庁と連絡。
- 1月3日 文化庁との協議(以降随時)。ぶんぼう緊急会議。
- 1月9日 被災文化財等救援事業と文化財建造物復旧支援事業の実施決定。(文化庁文化財災害対策委員会(第9回))
- 1月11日 石川県および富山県と協議  
文化庁より(独)国立文化財機構理事長宛に依頼文発出。「令和6年能登半島地震で被災した文化財等の救援及び建造物復旧支援について(依頼)」
- 1月16日 富山県と石川県の国指定・登録、県指定、市町村指定の文化財の被災推定マップ作成。
- 1月22日 石川県および富山県と協議
- 1月25日 石川県からの救援要請を受け、文化庁文化財災害対策委員会(第10回、メール審議)にて、石川県における被災文化財等救援事業及び文化財建造物復旧支援事業の実施を(独)国立文化財機構に依頼することを決定。1月25日付で国立文化財機構に依頼状を発出。
- 2月7日 富山県からの救援要請を受け、富山県においても事業を実施することを決定。
- 2月13日 被災文化財等救援委員会及び文化財建造物復旧支援委員会の合同委員会開催。
- 2月19日 金沢現地本部開設。救援活動開始。
- 3月11日 能登現地本部開設。

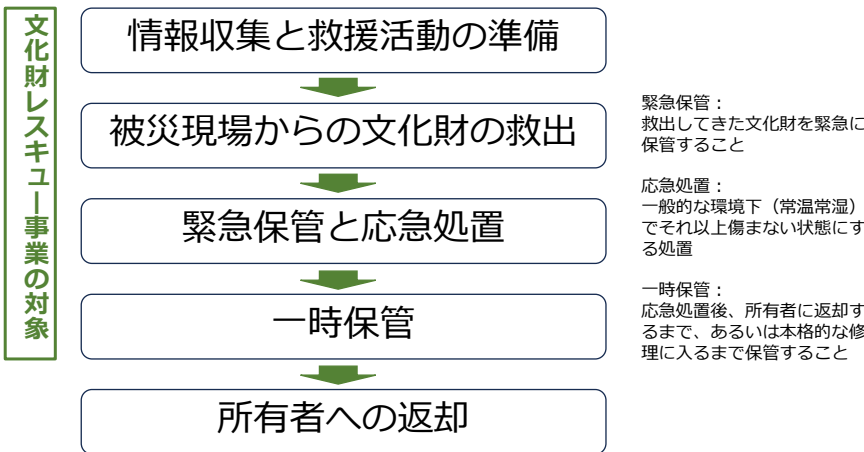


令和6年能登半島地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）

文化財の廃棄・散逸を防止するため、主に国指定等以外の文化財（動産文化財）を対象として、緊急に保全措置を必要とする動産文化財及び美術品を対象に、救出、応急措置し、博物館等において一時保管を実施



被災文化財救援活動の流れ



## 能登半島地震文化財レスキュー事業の活動について

能登半島地震で被災した文化財等を安全な場所に輸送し、それ以上悪くならないように応急処置を施した上でお預かりする文化財レスキュー事業を実施しております。

この事業は、石川県の救援要請を受け、文化庁より事業を受託している国立文化財機構が能登半島地震被災文化財等救援委員会を設置し、実施しているものです。

事業の内容と進め方は以下の通りとなります。

- ・被災した文化財等について、所有者、関係者さまからの要請をいただいたうえで、現場から救出作業をいたします。
- ・水濡れなど被災の状況により、必要な場合は、相談のうえ応急処置を施し、それ以上悪くならないような作業をいたします。
- ・その後は、ご相談のうえ、安全が確保できる場所にて、一時的に保管をさせていただきます（仮預かり証を発行いたします）。
- ・復興が進み、お引き取りできるようになりましたら、お引き取りをお願いいたします。
- ・お預かりまでの経費は不要です。

不明な点は文化財レスキュー事業現地本部または、本事業の事務局、国立文化財機構文化財防災センターにお問い合わせください。

能登現地本部（能登町柳田公民館内） 070-3968-1662

金沢現地本部（石川県庁内） 080-1300-8074

国立文化財機構文化財防災センター 0742-31-9056（代表）

担当 文化財防災統括リーダー 小谷竜介

## 文化財レスキュー事業についての所有者等への説明資料

【取扱注意】無断転載禁止



被害状況調査



個人宅の土蔵からの文化財救出活動



支保工を施し、作業者の安全を確保

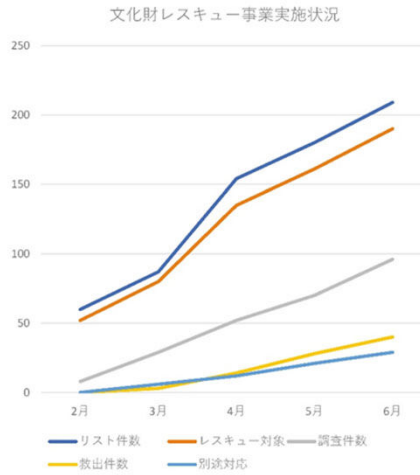


救出した文化財の梱包



## 文化財レスキュー事業の実施状況

	2月	3月	4月	5月	6月
リスト件数	60	87	154	180	209
レスキュー対象	52	80	135	161	190
調査件数	8	29	52	70	96
救出件数	0	3	14	28	40
別途対応	0	6	12	21	29



令和6年6月30日現在

### 今後の課題

- ・ 救出活動の促進
- ・ 救出してきた資料の整理作業
- ・ 応急処置の実施
- ・ 一時保管環境の整備
- ・ 復興に向けての取り組み

今後とも、皆様のご支援、ご協力を  
よろしくお願いいたします。